

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	波岸康幸
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4308 公民館管理事業											
所 属	130600 市民共創部・中央公民館											
施 策	04011900 生涯学習の機会充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	020000 公民館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
公民館は、学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。公民館の施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
199,581人	200,765人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
184,805人	190,228人
平成26年度 予定	平成27年度 予定
190,000人	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		31,230	32,114
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,628	1,270
一般財源		29,602	30,844
人員数(人)	正規職員	1.8	1.8
	嘱託職員	1.2	1.2
	臨時職員	0.6	0.6
人員コスト	正規職員	12,344.4	12,344.4
	嘱託職員	3,270.0	3,270.0
	臨時職員	706.2	706.2
	計	16,320.6	16,320.6
市民一人当たりの経費		0.9	0.9
総額		47,550.6	48,434.6

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	15,832	消耗品、燃料費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	1,585	清掃業務、電話保守点検委託、エレベータ保守点検委託、事務機器保守点検委託、電気保安業務委託 等
15節 工事請負費	187	デジタル放送対応等改修工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13,626	手数料、保険料、土地借上料、機器賃借料、受信料、清掃用具借上料、原材料費、備品購入費、自動車重量税

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	15,782	消耗品、燃料費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	2,465	清掃業務、電話保守点検委託、エレベータ保守点検委託、事務機器保守点検委託、電気保安業務委託 等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13,867	手数料、保険料、土地借上料、機器賃借料、受信料、清掃用具借上料、原材料費、備品購入費、自動車重量税

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	生涯学習の機会充実のため、市が提供する施設の維持管理は必須。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	生涯学習を活発に行う、快適で安全な学習や交流の場を提供できた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	施設機能の充実を図り、市民や各種団体の利用機会増を促すことが施設の効率的な運営と考える。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

公民館の施設・設備機能の充実を図り、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深められるようにする。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の劣化による修繕等があり、工事期間中利用が制限されることがあるが、使用者の安全・安心のため、学習・交流の機会提供、充実のため、継続した取り組みが必要。		交流、学習の場として利用者の立場に立った管理が必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	